

## 解答・解説

問1 傍線部内の重要古語は次のとおり。

「あさまし」…①意外だ。②情けない。③あきれるほどひどい。④見苦しい。

直前の「夢醒めて思ふやう」に着目すると、夢の中で起きた事柄に対して「あさまし」と述べていることがわかる。「もの盗むほどの身の報」と、自分が人のものを盗むことになったことに対して「あさまし」と述べているので、③の「あきれるほどひどい」という意味で用いられている。

また文の直前の夢の中に出てきた僧の発言に着目すると、「その後の方に臥したる女房の薄衣を、やをら取りて着て、早く起きて帰りね」とあることから夢の中で僧に盗みを指示されたこともわかる。

ア 寝ている別の女房に恨みを晴らすために盗めと要求されたこと。

イ 僧から仏の御利益を得るために盗みをするように命令されたこと。

ウ 大胆に別の女房の衣を盗めと周囲の人々から命じられたこと。

夢の中で僧が別の女房の着物を盗むように指示している。○

エ 夢の中で僧から別の女房の衣を盗むように指示されたこと。

よって、正解はエ。

## 選択肢判定チェック

「はからひ」…①配慮、判断。②計画。

「なじかは」…①どうしてか。(疑問)②どうしてか。いや〜ない。(反語)

問2 傍線部内の重要古語は次のとおり。

衣を盗むことを僧に指示されて、実際に目が覚めると寝ている女房が目の前に出現した。これは仏の配慮とも思えることなので、「はからひ」は①の「配慮」の意で用いられている。「なじかは」は②の反語の意味で使われており、反語の副詞が文中で用いられるときは、文末が連体形になる。よって「む」は推量の助動詞「む」の連体形で、「くだろう」と訳すのがよい。

ア 仏の判断で美しい服をもらうことができたとはかの人々も気づくだろう。

イ 服を取ったのは仏の命令であり、知っている人はいるだろうか。

ウ 仏の配慮であるから、服を取ったなどとは、誰も気がつかないだろう。

エ 私をあまりに哀れに思い、仏が服をくれたことを知った。

よって、正解はウ。

## 選択肢判定チェック

## 古文の世界 夢

「夢」というと未来の予言やお告げといった意味が古文でも見られるが、今回は「夢」と「恋」の関係に注目してみる。平安時代は、強く思えば、その人の魂がその人を離れて出て、思いを寄せる相手の前に現れると信じられていた。つまり「夢」に異性が現れるのは、相手が自分のことを想ってくれているからだ」という考え方である。例えば『古今和歌集』の恋歌に「住の江の岸による波よるさへや夢の通ひ路人目よくらむ」という歌があるが、「住の江の岸に寄せる波のように昼でも夜でもいつでも逢いたいのに、あなたは夢の中を行き来する道でさえ人目を避けて出てきてくれないのでしょうか。」という意味になる。

## 出典 閑居友

鎌倉初期の仏教説話集。作者は慶政上人ではないかという説もあるが定かではない。上巻は僧侶を中心とした男性主人公の話、下巻は建礼門院哀話など女性主人公の話が収録されている。

# 8 復習 「閑居友」

## 解答・解説

### 文法 Q 省略 Q 解答と品詞分解・現代語訳

#### 同格の格助詞

さて、夢の中に、僧のいみじく尊く、年たけ、徳至れりと見ゆるが、出で来たまひて「あはれに思ふさて、夢の中に、僧でたいそう尊く、年を取り、徳が十分にあると見られる（僧が、出ていらっしやうって、」気の毒に思っぞ。

ぞよ。恨めしくな思ひそよ。その後の方に臥したる女房の薄衣を、やをら取りて着て、早く起きて帰りね」恨めしく思ってはいけない。おまえの後ろの方に横になっている女房の薄衣を、そっと取って着て、朝早く起きて帰るなさい」

#### 連体修飾格の格助詞

と仰せらるるありけり。夢醒めて思ふやう、「あさましのわざや。はてはては人のもの盗むほどの身の報とおっしゃることがあった。夢が醒めて思うことには、驚きあきたことだよ。挙げ句の果ては人の物を盗むほどの（ただ罪深いだけではない）わが身の前世の報い

にてさへはべりけるよ。たとひ取りたりとても、衣一つはいくほどの事かははべるべき」とは思ひながら、たえ奪い取ったとしても、着物一つはどれほどのことがございましょうか」と（夢を見た人）は思っが、

#### 強意の係助詞

「さりとては、やうこそはあるらめ。さばかり身をまかせて詣りはべらん甲斐には、たとひ見付けられて、」それは言っても、わけがあるのだらう。それほど身を任せて参詣しますような御利益としては、たとえ見付けられて、

いかなる恥を見るとても、それをだにも仏の奉公にこそはせめ」など思ひて、後の方を見ると、まことに、どのような恥を見るといっても、せめてそれだけでも仏への御奉公にしよう」などと思って、後の方を見ると、本心に、

#### 順接確定条件の接続助詞

衣ひき着て寝ねたる女房あり。やをら引き落として取るに、さらなり、仏の御はからひなれば、なじか薄衣を被って寝ている女房がいる。そっと引き落として奪い取ると言っまでもない、仏の御配慮であるから、どうして

#### 衣を

は人も知らむ。人が気が付くだらうか。（いや気付かないだらう。）

#### 逆接確定条件の接続助詞

さて、取りて着て、やがて出でにけり。胸うちつぶれて、わびしくも悲しけれども、念じ返して、初そして（夢を見た人は）奪い取って着て、そのまま出て、胸がどきどきして、つらくなったり悲しくなったりしたけれども、我慢して、初

#### 衣を

瀬川のほどまで出でにけり。瀬川のあたりまで出てしまった。

### 単語 Q 解答

- ア はなはだしい。なみなみでない。  
イ 気の毒だ。  
ウ そっと。  
エ つらい。